

医療法人社団 英明会 大西脳神経外科病院



O's News



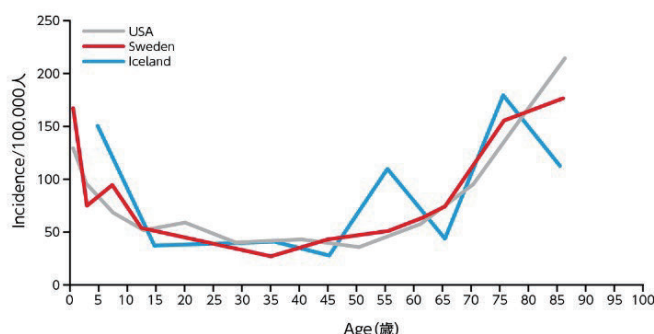
高齢者のてんかん

脳腫瘍・頭蓋底外科センター長

高橋 賢吉

高齢者のてんかんは、大部分が脳に障害があったり、脳の一部が傷ついたことで起こるてんかん発作です。意識障害を伴う発作が多く、発作中は記憶がありません。また、発作後はもうろう状態が長く続いたり、発作の回数も多い場合もあり、約半数に記憶障害が自覚されます。中には二次性全般化により全身けいれんを起こすこともあります。けいれんを伴わないために、見逃されたり、認知症と誤診されるケースも少なくありません。高齢者てんかんで特にアルツハイマー病では、側頭葉てんかんが最も多く約7割であり、側頭葉のてんかんの症状としては、口をモグモグして意識が朦朧したり、腹痛などのお腹の症状が前触れとして起こることもあります。また未体験なのに過去に体験したような感覚(デジャヴ、既視感)が生じることもあります。一般に、高齢者てんかんは脳卒中など原因がわかっている症候性てんかんが約2/3、原因不明のてんかんである特発性てんかんが約1/3です。症候性てんかんの原因は脳卒中が30~40%と最も多く、次いでアルツハイマー病などの神経変性疾患(脳内の様々な場所で神経細胞が死んでしまう病気)や頭部の外傷、脳腫瘍などが挙げられます。欧米における高齢者てんかんの年間発症率を調査した研究では、70歳以上が人口10万人あたり100人以上、80歳以上になると150人以上となり、年齢が高くなるほどてんかんを持つ人が増

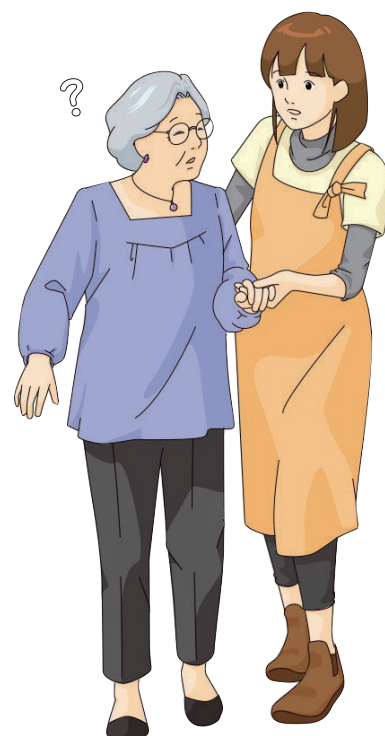
年齢別のてんかん発病率



加するという結果があります。高齢者のてんかんはめずらしい病気ではありません。

特に見逃されやすい症状としては、意識が朦朧とした状態で口をモグモグさせたり、身振りをするなどの異常な行動や短時間の記憶障害があります。痙攣発作がなくても、てんかん発作の可能性があり、てんかん発作であればお薬で治療することができます。

心当たりの症状があれば、外来での頭部MRI検査や脳波検査で簡単に精査することが可能です。早期の受診をお勧めいたします。



てんかんinfoより

今年度より当院4台のMRIのうち2台をCANON製 1.5T Vantage Fortianへ入替工事を行っており、4月より新装置1台目が稼働しました。(2台目は6月稼働予定)

昨今AIの技術が様々な分野で導入され、新たな時代へと変化しています。今回導入したMRI装置にもそのAI技術が活用されています。MRIにおける画像構成の中でノイズ成分が画質に影響を与えます。このノイズをAIによって低減させることで画質を向上させます。従来ノイズの少ないデータを得るには撮影時間が長くなりますが、このノイズ低減技術により短時間で得たデータであっても画質を向上することが出来ます。またさらに低分解能の画像を高分解能へと画像処理を行う技術も備わっており、より細かな情報を得ることが可能となります。これもまたAI技術を用いたものです。これらの技術により、短時間で高分解能かつ快適な検査を提供できる環境となりました。








骨を強くする食事を意識しよう～骨粗鬆症予防～

栄養管理科 管理栄養士 大久保 美里

骨粗鬆症とは、骨量が減って骨が弱くなり、骨折しやすくなる病気です。骨粗鬆症を予防する食事として「骨を作るカルシウム」「カルシウムの吸収を助けるビタミンDやK」をしっかり摂ること、「カルシウムの吸収を邪魔する食塩やアルコールなど」の摂りすぎに注意することが重要です。今回は、「カルシウムが多く含まれる食品」について一部ご紹介します。

骨を作るカルシウム 1日700～800mgを目標に摂りましょう!

牛乳・乳製品	小魚	大豆製品	野菜・海藻
 コップ1杯(200ml)に220mg	 煮干し(10g)に220mg	 1パック(50g)に45mg	 小松菜4/1束(95g)に162mg
 YOGURT 1個(80g)に96mg		 木綿豆腐半丁(150g)に140mg	

食品のカルシウム量は「日本食品標準成分表(八訂)」より引用

一つの食品に偏らず、様々な食品をバランス良く食べることが重要です。本院は、外来で個別栄養指導を実施しています。詳しい説明をご希望の方は、担当医までご相談ください。

6月(水無月)

みなづき

旧暦では盛夏にあたり、水も涸れて尽きる「水無し月」から、みなづきに。一年も半分が過ぎ、折り返し地点の時期、気分もあらたに下半期がスタート!



5/31~6/4(第二十四候) 麦秋至 / ばくしゅういたる

緑の美しいこの季節に、黄金色に広がる麦畑。収穫を迎えます。明治時代、海外からの化学染料の入荷により、今迄になかった発色が生み出されました。緑がかかった青色の「新橋色」は5月に装うハイカラ色として、新橋の芸者衆に好まれました。洋名は「ターコイズブルー」。



6/5~9(第二十五候) 蟻螂生 / かまきりしょうず

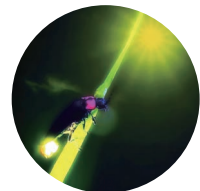
秋に産みつけられた卵からかまきりの赤ちゃんが孵化してゆきます。各地の田んぼで稲がすくすくと成長するこの頃、6月に入ると「虫送り」の行事が。農業のない時代、害虫の発生はおそろしいものでした。わらで作った人形を燃やしたり、川へ流したりして、害虫除けを願いました。



紫陽花が美しい季節。しとしとと降る雨によく似ています。

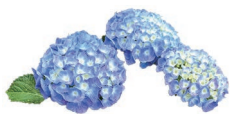
6/10~15(第二十六候) 腐草為螢 / くされたるくさほたるとなる

螢が舞い始める日を観測する「ホタル前線」(気象庁)。桜前線と同じく徐々に北上、5月下旬四国、九州から始まり、6月には北陸、東北へ。1920年(大正9)年、時間の尊重、厳守を目的に「時の記念日」が制定されました。



6/16~20(第二十七候) 梅子黄 / うめのみきばむ

そろそろ梅雨入り。梅の実も熟して黄色に。梅仕事の時期ですが、「新しょうがの甘酢漬け」はいかがでしょう。夏に向けて、殺菌効果も高く、クエン酸により夏バテ予防にも効果バツグン。作り方も簡単です。



6/21~25(第二十八候) 乃東枯 / なつかれくさかるる

利尿効果やむくみに効く漢方薬、夏枯草が枯れてきます。6/23、24は東京港区愛宕神社の「千日詣りほおずき縁日」です。厄除けの縁起物ほおずきが並びにぎわいます。古来、日本人は赤い色には災厄を祓う力があると信じられてきました。



6/26~30(第二十九候) 菖蒲華 / あやめはなさく

東北や北海道ではアヤメが見頃です。4~6月に出荷される夏ミカン。晩秋に色づきますが酸味が強い為、酸味が和らぎおいしくなる迄、貯蔵しておくかそのまま木に実らせておきます。ひとつの木に前年の実と新しい実の二世代の実があるので、「夏代々」とも呼ばれています。



太陽の位置が一年で最も高く、影が短くなる日です。

その1 トマト物語

南米アンデスの高地がトマトのふるさと、新大陸の発見と共に、16世紀ジャガイモと共にヨーロッパへ渡り、日本へは江戸時代にポルトガル人、オランダ人によってやってきました。当時「唐カキ」「珊瑚ナス」とも呼ばれ、観賞用でした。香り、酸味共強く、色が濃い赤で、江戸っ子たちには刺激が強すぎたようです。品種改良され、明治後半頃から一般的に食べられるようになりました。「トマト」という名前は古代メキシコ語で「ふくらむ果実(かじつ)」という意味の「トマトル(tomatl)からきています。 つづく(^-^)



外 来 担 当 医 表

(血)血管内治療 (顔)顔面の痛み・けいれん (FUS)集束超音波治療

		月	火	水	木	金
1診 【予約制】	午前	高橋(顔)	大西(宏)	久我	茶谷	三好
	午後	高橋(血)	大西(宏)(血)	久我	茶谷	三好
2診 【予約制】	午前	細川	岡本	角田	富士井	担当医(血)
	午後	細川	岡本	角田	矢野	脊椎・脊髄外来 山本
3診 5診	午前	担当医	担当医	担当医	3診 佐藤	5診 酒井
	午後	担当医	担当医	担当医	3診 佐藤	担当医
6診 【予約制】	午前	—	—	—	—	—
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	平林	麻酔科 鈴木
7診 【予約制】	午前	脳神経内科 樹下	—	脳神経内科 赤谷	てんかん 第4週 田村	脳神経内科 第1・3週 阿部 第2・4・5週 小坂田
	午後	脳神経内科 樹下	—	—	てんかん 第4週 田村	脳神経内科 第1・3週 阿部 第2・4・5週 小坂田(FUS)

※診察受付時間:月～金 <午前>8:30～11:30 <午後>13:30～16:30 ※毎週金曜日13:00～ 7診 麻酔科 鈴木 (2024.6)
※第1・3週金曜日9:30～12:30,13:30～16:30 6診 脳神経内科 阿部

連携協力医療機関のご紹介

No.2

深水内科医院

院長:深水 真知子

【認定資格・所属学会】日本内科学会認定内科、日本糖尿病学会専門医、日本医師会認定産業医、日本体育協会公認スポーツドクター

【診療科目】内科、消化器内科、糖尿病内科

【住 所】神戸市垂水区多聞台4丁目122

【電 話】078-782-0016

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～11:30	○	○	/	○	○	○	/	/
13:30～16:30	○	○	/	○	○	/	/	/

休診日:水曜・土曜午後、日曜、祝日



深水院長からのメッセージ

生活習慣病、特に糖尿病を専門に診療しております。食事や運動の指導、患者様が内服やインスリンなどの治療を不安なく受けられるよう、糖尿病療養指導士とともにサポートしています。患者様に寄りそった医療を心がけております。

No.122

王子クリニック

院長:江藤 弘

【認定資格・所属学会】医学博士、日本泌尿器科学会、日本癌治療学会、日本臨床泌尿器科医会、日本透析医学会、兵庫県泌尿器科医会

【診療科目】泌尿器科、乳腺外科

【住所】明石市北王子町13-60

【電話】078-924-1221

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
泌尿器科 9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	/	/
泌尿器科 16:00～18:00	○	○	○	/	/	/	/	/
乳腺外科 9:00～12:00	○	/	○	○	○	△	/	/
乳腺外科 13:30～16:30	○	/	○	○	/	第3のみ	/	/

泌尿器科:新患随時受付、一部の検査は予約制です。

休診日:木曜・金曜・土曜の午後、日曜、祝日

乳腺外科:完全予約制

休診日:火曜、第2・第5土曜、金曜午後、第3以外の土曜午後、日曜、祝日



江藤院長からのメッセージ

当院は泌尿器科・乳腺外科の有床診療所です。泌尿器科には癌を専門とする3人の医師が在籍し、前立腺肥大症や尿路結石に対するレーザー治療にも積極的に取り組んでおります。乳腺外科では女性医師が対応し、乳がんの診断、治療を行っております。



〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238 / FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <https://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288 / FAX:078-938-0399

発行・編集責任者:理事長・院長 大西 宏之



ホームページ